

## 序

山形県埋蔵文化財センターは、平成5年に財団法人として創設以来、また平成24年からは公益財団法人として、関係諸機関の御支援・御協力をいただきながら取り組みを進めてまいりました。本年度における当センターの事業については、計画した事業のすべてについて円滑に実施することができました。

その概要について申し上げますと、はじめに、調査事業においては、6遺跡7件の発掘調査と、延べ13遺跡の報告書作成のための整理作業を実施し、4冊の発掘調査報告書を刊行いたしました。

本県における近年の発掘調査の傾向は、県公共事業の減少が引き続き見られ、国による新直轄事業の高速交通網整備に伴う事業もピークを過ぎたことから、今後予想される高速道路の県境部分の整備や県の公共事業等の事業量を的確に把握しつつ、調査体制の整備に努めていかなければなりません。今後とも、責任ある発掘調査を基本とした調査研究に取り組んでまいります。

次に、普及啓発事業につきましては、諸事情により、今年度は大幅な事業縮小を余儀なくされました。そのため、例年好評をいただいております「埋蔵文化財センター参観デー『埋文まつり』」をはじめとするいくつかの事業の実施は、まことに残念ながら見合わせざるを得ませんでした。しかしながら、埋蔵文化財保護の重要性の周知や、埋蔵文化財を通して古代の人との心の交流の場を県民の皆さんに提供するという基本姿勢に変わりはなく、ホームページによる情報発信や調査遺跡における発掘調査説明会の開催のほか、ホームページ上での公開ではありましたが、広報誌『埋文やまがた』の発行などを通して、埋蔵文化財の調査研究の成果を県民の皆さまにお知らせしてまいりました。また、職員を派遣しての講演や体験活動、調査研究発表等は、従来通り実施してまいりました。

埋蔵文化財センターでは、これからも「公益」という言葉の重みを職員一人ひとりが胸に刻み、次世代を担う子供達に地域の伝統文化の大切さを伝えるため、あるいは誇りと自信の持てる地域づくりの一助とするため、さまざまな機会を活用して、県民共有の文化遺産としての価値ある埋蔵文化財を後世に伝えて行けるよう、職員一同、一層研鑽を重ねていく所存であります。

平成29年3月31日

公益財団法人山形県埋蔵文化財センター  
理事長 廣 瀬 渉

# 目 次

## I. 管理運営概要

1. 沿 革	3
2. 組 織	
(1) 役員及び評議員	3
(2) 職制及び人員	4
(3) 組 織	4
(4) 職 員	5
3. 施 設	6

## II. 事業概要

1. 調査業務	7
(1) 調査遺跡一覧	8
(2) 調査遺跡の概要	
上竹野遺跡(第2次)	10
山形城三の丸跡(第18次)	14
山形城三の丸跡(第19次)	18
八幡西遺跡	22
壇山古窯跡群(第9地点)	26
馳上遺跡(第8次)	28
元立北遺跡	32
2. 普及・啓発・研究等業務	
(1) 研修等	
①全国埋蔵文化財法人連絡協議会事業への派遣	34
②埋蔵文化財担当者専門研修への派遣	34
(2) 普及啓発	
①センター公開事業	34
②考古学講座	35
③展示協力	35
④来所者	36
⑤調査説明会	38
⑥職員派遣等	39
⑦資料貸出	42
⑧資料掲載許可	43
⑨出版物	44
⑩ホームページ	44
(3) 情報処理	
収蔵図書データベース	44